

受賞一覧

相模湾を望む住宅

秋谷

秋谷の高台から見える海と緑と富士山の景色を損なうことなく、エントランスの枠組みをフォトグラフのフレームに見立てた建築手法は、地域が共有する自然や景観の観点から大変素晴らしい調和を図っていると思います。

(小池委員)



横須賀美術館

鶴居4-1

海側道路より正面入り口まで芝生のひろばで引きをとり、レストランやワークショップを前面に配置することによって、壁の建築となりがちな美術館の表情を、人々のアクティビティで満たし、賑わいのある街の景観を作り出している。一方、観音崎公園の山道を下り、目にする海の風景に建物は無い。屋上デッキへと誘う心惜い導入は美的でもある。

(平倉委員)



カフェレストラン「コルセール」

ヴェルニー公園内

横須賀駅にほど近いあたり、ヴェルニー公園の広々とした海辺のデッキにつながる木立の中に、ガラス張りのレストランがひっそりと佇んでいる。平面も屋根も折れ曲がった不定形は、街中では異質であってもここでは周囲によくとけ込んでいる。開放的な店内からは潜水艦や戦艦を臨むことができ、横須賀らしい景観を内外に含んだ建物となっている。

(山畑委員)

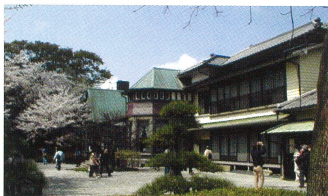


旧横須賀鎮守府長官官舎

田戸台90番地

洋館と和館が並列された建物は、関東大震災にもびくともしなかったと言われていますが、どっしりと落ち着いた雰囲気がある大きな庭園とよくマッチして歴史を感じさせます。横須賀を代表する建築物の1つとして評価します。桜の時期に一週間公開されていますが、横須賀の素晴らしい景観として「囲いの中にある」というのではなく、多くの市民が楽しめる工夫が欲しいです。

(住岡委員)



永嶋家の赤門

安浦町1-16

市民には「赤門」として親しまれ、広く知られている。威風堂々とした門構えは、今も立派に保存されている。門の右側には旧浦賀道を示す文久2(1862)年の道標が立っている。現在は、住宅街の中でひっそりとした佇まいであるが、当時の海を臨む浦賀道を思い起こさせる、まさに古き横須賀を象徴する景観である。

(鈴木委員)

